

令和元年度千葉県計画の策定並びに過年度計画の変更について

1 国への要望と内示の状況について（表 1 参照）

(1) 国へは、医療分 27.1 億円、介護分 6.8 億円の合計 33.9 億円で要望した。

(介護分 6.8 億円のうち、5.1 億円について、地域密着型施設等の開設準備支援等事業の不足分を要望し、当初要望予定であった人材確保分 1.7 億円と合わせ合計 6.8 億円を要望した。)

(2) 介護分については、6.8 億円（対前年度比 4.5 億円増）の要望額どおりの内示があり、

医療分については、9 月 5 日夕刻に内々示が示されたところであり、要望額と内示額に差額があることから千葉県計画の策定にあたっては、以下対応方針に基づき事業費の修正の上策定し、国へ計画の提出を行うことしたい。

2 要望額と内示額の差額への対応方針について

対応方針

- ① 令和元年度執行分については、過年度計画基金と令和元年度基金を一体的に運用（過年度基金残額の活用）することにより、基金計画全体を通じて事業の実効性が確保できるよう努める。（医療分（Ⅱ・Ⅳ）2.8 億円）
- ② ①によっても要望額との差額が生じるⅣ医療人材の令和元年度実施事業については、いずれの事業も必要性は高いが、財源が限られていることから、以下のア～ウまでの方針で対応する。
- ア 最重要課題である医師及び看護師確保対策のうち、修学資金貸付事業など特に必要性の高いものについて必要額を精査した上で事業費を確保する。
- イ 令和元年度の当初から実施する必要のあった委託事業等について執行見込状況を踏まえた上で必要額を確保する。
- ウ 上記ア、イの対応によってもなお生じている医療人材分の差額に対応するため、事業の一部を見直した上で全ての事業について執行する。

（表 1）基金の要望と内示

（単位：億円）

国の事業 区分	国への 要望額 (A)	内示 状況 (B)		差額 (B-A)
		R 1	R 2以降	
I 医療施設	3.1	1.6	1.5	3.1
II 在宅医療	0.8	0.8		▲0.2
IV 医療人材	23.2	23.2		▲2.7
医療計	27.1	25.6	1.5	▲2.9
III 介護施設	5.1	5.1		0
V 介護人材	1.7	1.7		0
介護計	6.8	6.8		0
合計	33.9	32.4	1.5	31.0

内示に合わせた変更

（表 2）令和元年度計画の内示対応

（単位：億円）

国の事業 区分	国への 要望額 (A)	内示(要望) 状況 (B)	差額 (B-A)	対応策		R 1 年度計画の 各配分 (=B)
				方針 ① 過年度 基金活用	方針 ② 事業 見直し等	
I 医療施設	3.1	3.1	0	-	-	3.1
II 在宅医療	0.8	0.6	▲0.2	0.2	-	0.6
IV 医療人材	23.2	20.5	▲2.7	2.6	0.1	20.5
医療計	27.1	24.2	▲2.9	2.8	0.1	24.2
III 介護施設	5.1	5.1	0	-	-	5.1
V 介護人材	1.7	1.7	0	-	-	1.7
介護計	6.8	6.8	0	-	-	6.8
合計	33.9	32.4	▲2.9	2.8	0.1	31.0

※端数計算の都合上、千円単位で計算した場合と総額などが一致しない場合があります。

※医療分の内示状況は口頭での内々示のため、額が変更する場合があります。